育児談

一様育てにくい。病気には医者第一

一様育てにくい。病気には医者第一

植株なら芽の出たから日の経たない間が育てるのに一番難しいといふ事はたれもし知るところであるが人間もその通りで生まれて一歳が育てるのには骨が折れ、又三歳頃がむつかい。それが過ぎるとなやく楽になるが、七八歳になってまた骨の折れる時期が来るそれを越ると余程育てやすならぬ。しかし十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になると、まちが、十四五歳はゆる春期発動期になった。
と、この期間に亡くなられるような事がほとんどない。これによって見ても、衛生に注意をするといい事が多いのである。特に若者については、若者が弱くなるという若者のものは、そう言うのではないで、発熱するとか、下痢するとか、発疹のない衛生の大切である事を唱へる。これに新着思想の衛生が大であるが、これから普通、衛生にやましい家の子供をはくと弱くて、貧民等の子供は丈夫であるという。実際ににおいて知識階級、上流社会の子供は、労働階級、下層社会の子供等よりも弱い事実は多いけれども、それは生まれながらの体質であり、衛生と暮らしがまはるかに弱くなるのではないかのである。それ故かうどもふ弱い子供を持った上流社会の人は、まず衛生に注意しなければならない。
なんだを忘れずに、学校や家庭での事は、あまりしないで。

学校の教育者も注意し、家庭においてもなお

その事は、学校の教育者も注意し、未来の母

たる学生達も注意し、また家庭においても学校で

たる学生達も注意し、また家庭においても学校で

に、教育の講習会、講演会に行つて話さくと

又はその道の人との意見をきくとか、新聞、雑誌、

展覧会等において見るとところを、母なる人の

注意を養はなければならな。とくにかく貧い大

国の死を預かってある母なるものは何等育児

の知識なくしてこの大任に当る事は、大にして寒心

すべき事である、一番にすといふ度度事であるが、

第二に、これは私自身もよく経験があるが、子供

をもって三四歳位までは絶えず熱が出たり、下痢

をしたりする事がある。この時に医者にかけるか

どうかと迷ふ事もある、この位ならば医者にかけ

すとも思ふ事があるが、之は大人を標準にする

のであつて、子供は少しの場合でも生命にかかる

事が往々ある。私は三歳位までの間は少しの変

化でも軽い病気でも、直に医者にかける事は憲法

とする様におすすめする。無論時には早計過ぎる

と笑はれるかもしれないが、そんな事はかまはす

に直に医者にかけるようにし度い。読者の中にも

思い当るものをあろうが、もう少々早く医者にか

けたら、死なずにすんだのにといふ場合が澤山あ

かうと思ふ。子供は質に二時間三時間で取返しの

つかない事がある。よしんば軽い熱であつて、醫

者にかける事に恥じておいて治るものであつても、醫

者にかけずにおいさて治るものであつても、醫

者にかけずにおいさて治るものである。医者に

かけて二日で治る場合、生命はとるのもので、醫

者にかけずにおいさて治るものである。医者に

かけて二日で治る場合、生命はとるのもので、醫

者にかけずにおいさて治るものである。医者に

かけて二日で治る場合、生命はとるのもので、醫

者にかけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治るものである。医者に

かけずにおいさて治ものを
○子供と玩具

積木遊びを見れば、知識程度が知れる。

子供に興へるもちろんはどんなもののがよいかな

ところがそののは素人考へて、家庭にあらるものは何

でも子供のおもちやの材料になる。すべり壁の

ひまを借むのでないであろう。結局之が等閑に

ひまを借むのでないではろう。その

夫が物をとるひままを借りて楽しんで苗を育てる事を

思へば、可愛らしい子供の為には五葉や六葉を借ま

でそこに子供の面白味がある。理窓つめになると遊戯気分

ちやかぬもので、理窓つめになると遊戯気分

がなくなる。遊戯的といふことは目的を持てぬ

もので、そうして気の向くがよいに活動するので

パッカリした目的を持って努力すると遊戯でなく

業務になる大人は毎日つらくも仕事をする、それ

は業務で小学校の仕事は遊戯と業務を取り入れた作

業の気分のものである。そして家庭にあらる時代の

子供には理窓つめにもちやを興へはならぬ。

おちやはある意味から研究の道具で子供の知識

程度の発表的用具であるが、子供には慰安の意味

で興へるのだ。日本の玩具の最も缺點だと思われ

るのは子供の工夫を加へて発表するものつまり子

供の創作力をたすけて行くものがほぼしい。とこ
子供の工夫を加えるような玩具は貰われなくて人形でも何でも既製品が多く貰われる。それだけでなく、母親が玩具に対する考えが発達しておらないのだ。積み木にしても自由に積みにくいペラの塗ったものが受けている。色がぬついてあると積みあける形が制限され、そうした通り以外の面白く積みあけるものが求められる。それにから子供は早くあきが来るだろうから子供が工夫をしないと、自由にどんな形にでも積まれるもので興味はなられる。ただ日本では玩具が子供の研究機関だといふ思想にとらわれている。積み木にしても男の子供は立派に積むからある。女の子供は平面にならべる天性を持っている。それを女の子の子供に高く積みあげる。これ等の点を考察して子供の知識がどのくらい進んでいるか、幼稚園時代には立派に積む事を教えると男の子供よりは多く立派に積みあげる。従って子供が一つ積みあげるのに何十分か要するかを見るのが子供の研究問題である。心の落ちつかぬ子供、発達しない知識の強い子供は積みあげるに長い時間を要するが最後まで完成する。積みあげるに長い時間を要する子供は知識の進んだ子供である。この点を観察すれば、その子供が幼稚園から尋常小学校へ進めるに早いかどうかを考慮する素材になる。これ等はもちろんの取扱ひを見て、その子供の発達状態を知るに有効な方法であると思う。